



田園 四月号

聖フランシスコ カトリック田園調布教会

(No.621. 2013. 4. 1) 発行責任者 矢野 勉

☎ 03(3721)7271

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-43-1

神の恵みを身近に

協力司祭 フランチェスコ 新直己神父



ご復活おめでとうございます。

長かった寒い季節がやっと終わり、本格的な春が訪れたようです。毎年この季節を迎えるのは嬉しいものです。寒いよりも暑い方が好きな私にとって、冬の間、閉じ込められていたものがやっと解放され、一息つけるようになる春はわたしの好きな季節です。

この喜ばしい復活を迎えるまでの四旬節、いつもなら自分を振り返って「これじゃダメ。少し反省しなくちゃ」と何だか重苦しいような不自由な季節と感じてしまいがちです。

でも今年の四旬節、いつになく恵みを受けたいような、そんな嬉しい季節になりました。そのため今、一層晴れ晴れとした気持ちで復活節を迎えています。今回はその「なぜ？」を脊に少し書いてみようと思います。

二月の頭頃から突然、何だかお腹の左下のあたりが重たく膨れているような感じがありました。痛くはないのですがトイレに行っても何だかいつもスッキリせず、その状態が何日も続いていたので次第に気になりだしました。

わたしは昔から健康優良児だっただけに、

ちよつとした体の異常でも過度に心配になるのです。「もしや悪いものでは。ひよつとして命の危険が迫っているのでは」と、それからはしばらく不安な日々が続き、少々落ち込んでさいいました。それでも、そんな風に気をもんでいても何も変わるわけではないので、覚悟を決めて「エイヤーツ！」

とお医者に行くことにしました。

一応信仰者、それだけでなく修道者、司祭だと公けには思われているのに、まったく情けないものです。でもやはり人の子。イヤなものはいやーツ！怖いものは怖いのです。

不安のうちに診察室の前にいたのですが、お医者さんに会うと「採血しましょう」ということでした。その結果は、一週間後に知らされるといふことです。「そんなに待つのか？」

それからというものの、何日かの間だけが心が改め、少し真剣に命というものにも向き合うことにしました。告解にも出かけ、のらりくらりの生活を、罪を悔い改め、祈る時間が心もち長くなりました。

いつもわたしはそうなのですが、日頃からバタバタして落ち着かない性格です。「このところ何か大事なことを、一番大事なことを忘れていた」といった思いでいましたから、日頃を振り返る上では良い薬になりました。

結果は特に何も検出されませんでした。

恐らくですが、もう何年も前に一度ひどく食べ過ぎた事があり、しばらくの間同じ箇所が重たかったことがあります。

そのあたりが何かのせいで少し調子が悪くなったのでしょうか。時間は確実に過ぎていきます。以前のようにはいきません。「体に気をつけろ」という警告でもあるのでしよう。

それにしても主のなさり方はすごい！どこか自分が求めていたものをちゃんと与えてくださったのです。

この四旬節、少し不安の中にあつて改めていろいろなことを学ばせられました。普段感じないような神の近さを感じ、少し

甘えることさえできました。

イエスの痛み、苦しみを、そして病人の不安な気持ちもほんのちよつとだけですが理解できました。そして何よりも、自分の思いやり方でなく、神の思いやなさり方に信頼してそこに委ねていくこと。そうしていくことで多くの恵みに気づくものです。やはりわたしたちのあるじはこの神なのです。

将来を見通すことができる神は、ひとりひとりのうちに特別な何か、わたしにしかない何かを計画しておられます。時にわたしたちには理解不可能ですが、神は必ず神により頼む者に善いものを与えないではおられないはず。エレミヤ 29:11
改めてご復活おめでとうございます。

この命の蘇る季節、イエスによって贖われ、与えられた命を本当に喜びたいものです。そしてどんなことにも偉大な計画が隠され、それが実現されることを大いに期待し、神をほめたたえましょう。
ハレルーヤ！

信徒連絡会議事録（三月十日）

〔報告事項〕

◎ 灰の水曜日（二月十三日）
四旬節が始まりました。

◎ 四旬節黙想会（三月三日 指導 桑田神父様）

十時から第一講話（約四百名）、十一時からミサ、十二時四十分から第二講話（約百五十名）、十四時からゆるしの秘跡（約百二十名）。課題として、ミサ時間の周知が届かず九時ミサに来られた方があった、音響の問題で聞き取りづらいところがあった、黙想の時間をもっとはつきり取った方がよかった、小さな子連れの参加者の参加方法に工夫が必要、などの指摘がありました。良かった点は、多くの方が参加され、若い人がお手伝いをしてくれました。

◎ 風評被害農家応援セール（二月十七日）

ホールにて。第二十二回目。

〔今後の行事予定〕

◎ ローターションミサと信徒交流（三月十日）
碑文谷↓田園調布↓上野毛↓碑文谷で、ザベリ才神父様が上野毛に行かれ碑文谷教会から口

ピアーナ神父さまがお見えになりました。信徒交流のテーマは「各信徒をどんな求心力で教会の活動へ呼び込むか、アイデアを持ち寄る」です。

◎ キム神父様のお話しを聞く会（三月十日）

◎ 大震災復興祈念ミサおよび支援募金（三月十日）
七時三十分、九時、十一時各ミサ内にて
祈念し、支援募金を集めます。

◎ 信徒総会（三月十七日 十時ミサ後）

会計報告、大聖堂大規模修繕、教会委員任命等を行います。

◎ 枝の主日（三月二十四日）〜聖週間

◎ 全国侍者集会（三月二十五日〜二十七日）

◎ 青年会ミニコンサート（三月三十一日 十一時ミサ後ホールにて）

◎ 風評被害農家応援セール（四月七日 ホールにて 第二十三回）

◎ エクレシアチャリティーコンサート（四月七日 十二時三十分〜ホールにて）

復興支援プロジェクトとの共催で、献金は復興活動に充てます。

◎ 新人歓迎会（四月十四日 十一時ミサ後 ホールにて）

〔検討・審議事項〕

◎ 信徒総会の議題について

大聖堂の大規模修繕について。建設から六十年を超え、前回の修繕から十年近く手を入れておらず、外壁にひび割れ等が出ているため、タイルの張替えと、地震時の蛍光灯落下防止などを行います。大規模修繕積立金を活用し、年内に行いたいと思います。信徒が教会活動に多く参加するように、情報発信などに力を入れていきます。昨年度の決算報告を行います。

◎ 教会ホームページの刷新について

三月三十一日から新しいページで発信していることと予定しています。活動会の紹介も、最初からすべての会を掲載することはできませんが、個人情報に注意しながら充実させていきたいと思えます。活動会に取材に来てくれるのか？との質問があり、人員の問題などでなかなか取材できない、との回答がありました。

◎ 教会案内の改訂について

新人歓迎会で配布するために、毎年改訂しています。各委員会、活動会、活動グループの紹介をします。提出期限は三月十日です。

◎ 行事参加者登録の経過について

教会の様々な行事に企画から参加して下さる方の登録をお願いしています。第一回の締め切りは二月二十日で、二十五名の申し込みがありました。四旬節の黙想会で早速ご活躍いただきました。枝の主日にも数名の方にお手伝いいただきました。第二回締め切りは四月七日です。登録用紙は信徒開館受付と大聖堂入り口にありません。

◎ 教会学校について

教会学校には現在七十名ほどの子供が参加しています。以前は、教会学校も中高生会も自立して行いましたが、今は中高生会メンバーも教会学校のリーダーも減少しており、現状の形で土曜学校を運営できなくなっているため、ヒアリング等を参考に夏過ぎから日曜学校へ移行することを検討しています。日曜なら参加できるという方もあり、教会学校から中高生会へスムーズに進むようにしたいということがあります。土曜の午後に子供たちの声が聞けなくなることにはさびしいですが、子供たちにきちんと信仰を伝えていくということを主眼に考えていきます。

〔委員会、活動会からの報告〕

◎ レジオ・マリエ

毎年、ご復活とクリスマスに、病気などで教会に来られない方、高齢の方、新しく教会に来られた方で了承をいただいた方にカードを贈っています。ご近所に高齢やご病気などで教会に来られない方がいらつしましたら、三月二十四日まで受付の引き出しに申込書を入れるか十一時ミサの聖堂受付に申し出ていただければ、カードを贈ります。

〔意見、質問、他〕

◎ 信徒連絡会は三十分という制限時間を厳守してほしい、との意見があり、特に討議がない場合は三十分ぐらいで終了するようにしたいと回答がありました。

◎ 掃除道具を持ち出したまま、正規の場所に返さない方があるので、注意してほしい。
◎ 新司祭のキムさんが、札幌北十一条教会に異動します。

次回は四月十四日十時に開催します。

ミサ奏楽担当者一覧

2013年3月現在

	土曜日	日曜日		
	19:00	7:30	9:00	11:00
第一週	森重さとり	西川まり	高村博子 中屋柚生子 三輪久美子	池谷瑞季 浅尾直子 長沼真美 (新任・初台教会所属) 久野将健 小清水桃子 英貴子 千葉麻莉子
第二週	勝村すず代	佐藤ミサ子		
第三週	11時ミサ担当者	大川清子		
第四週	有賀ゆきの	二瓶礼子 高浜知佐		
第五週	宗施月子 松本直子	7時半ミサ担当者		

尚、鈴木裕子さんは今年3月に退任されました。27年間の奏楽に感謝します。

感謝です♥♥♥♥

3月10日に行いました東日本大震災復興支援募金には、たくさんの献金を頂きました。皆様のご協力に心より御礼申し上げます。募金は復興支援プロジェクトの活動に使わせていただきます。

今後とも引き続きご支援を・・・

教会委員会

復興支援プロジェクト

2013年度

信徒総会開催



3月17日 信徒約250名が参加

今年度の活動方針

今年度は「信仰年」のまとめの年となります。一人ひとりの信仰を深めることだけでなく、信仰を多くの人に伝え、実行することも大きな信仰の目的です。

その目的を達成するために、今年度は次の活動方針を立てました。

教会活動へ信徒全員参加

田園調布教会が更に生きた教会となるため、信徒がより関わり易い仕組み造りを行います。

生きた教会を実現するためには、信徒が少なくとも一つは、何らかの教会活動に関わること、いわゆる「全員参加」が必要です。そのため、教会内の動き、情報を出来るだけわかり易く、早く伝えるために従来の「教会連絡会」を信徒が誰でも参加できる「信徒連絡会」への変更や、ホームページのリニューアルなどを行います。

教会財政の強化

教会運営・維持のための財政が年々悪化しています。そのために信徒の「義務」である教会維持費の納入を促進させます。

この「教会維持費」とはミサの献金とは別に、一定期間内（例えば毎月）に一定の献金として維持費を納入するものです。私たちの教会は無償では維持できないことをご理解ください。

大聖堂大規模修繕の実施

老朽化に伴う大聖堂外壁補修と聖堂内の照明落下防止工事を行います。実施については、今まで大規模修繕費用として積立した資金内で今年度中に予定しています。

いずれも、とても大きな目標で、教会の信徒全員で取組まなければ実現できません。私たちの信仰の拠点となるこの教会を生きたくするために、皆さんのご協力をお願い致します。

教会委員長 矢野 勉

信徒総会の冒頭に、今年度の教会委員が主任司祭から任命され、承認されました。

2013年度 教会委員

教会委員長 矢野 勉

教会副委員長 安達 信

小谷 洋子

教会委員 今泉 立人

今川 清

川田 茂

中島 聖司

堀 進一

マイク ベレット

朝倉 公子

菅原 ちはや

玉木 桂子

土谷 珠慧

中屋 柚生子

普川 トミ子

堀 勢津子

村山 弥生

山田 京子

以上18名

総会審議の報告

議案 ①教会組織変更と規約の改定、

②大聖堂大規模修繕工事、

③二〇一二年度決算・二〇一三年予算、
について承認されました。

飛花落花



小林シゲ

ハイタッチ して再会の 花の下

多摩川台公園のお花見で偶然女学校時代の友人に
めぐりあい思わずハイタッチして喜び合い、つもる
話をいたしました。

子の機嫌 笑顔に変わる シャボン玉

幼稚園から帰った児が、母親が留守で泣き出しそう
になりましたが、お隣のお姉ちゃんが、シャボン玉
を吹いて遊んでくれましたので、その美しさと、フ
ァンタスティックな面白さにいつしか笑顔になってお
りました。

喜怒哀楽 秘めしポストに 花ふぶき

喜び哀しみ抗議をする為の怒りの書等をかかえこん
で無言で立っているポスト、人生の縮図がつまって
いるポストを包む花ふぶきに飛花落花の言葉が浮か
びました。

ミサ時間

平日

7 : 0 0

土曜日

1 9 : 0 0

主日

7 : 3 0

9 : 0 0

(子どもと共に)

1 1 : 0 0

